

2023年7月1日

第53回東京鶴翔同窓会実行委員会（第4回）議事録

日 時：2023年7月1日(土) 14時00分～17時00分

場 所：中央区立環境情報センター第1研修室

出席者：25名（順不同、敬称略）

役員 会長：坂田敬一

副会長：梅津準士、大泉正

幹事 常任幹事：坂田俊次、今野りつ、菅井順朗

事務局 事務局長：岡部次樹

事務局次長：杉山恵子、伊藤美津子、石川康博、佐藤雄喜

53回実行委員 (74)真田充、佐藤秀子、秋野裕

(84) 鈴木良清、松田豊一、三木美智、匹田秀二、富樫嘉美、
中里陽一、砂原実喜子

(94) 武谷克裕、岡村佐由子、齋藤潤司、藤田美鈴

1. 開会

2. 坂田会長挨拶

7月に入り、生徒はもうすぐ夏休みで心躍らせる季節になった。このような思い出を忘れていくように思いつつも、皆が一同に会して話ができることを嬉しく思う。

鶴岡の新同窓会の打ち合わせ状況が鶴翔同窓会のHPに出ている。決定したこととして、同窓会の名称を固有名詞（鶴翔や如松など）にしないことが昨年から掲載されている。新同窓会の正式名称は、山形県立致道館高等学校同窓会である。略称は、県立致道館高等学校同窓会、致道館高等学校同窓会、致道館高校同窓会の3案が掲載されている。

東京鶴翔同窓会をどうするかを検討していくが、当同窓会は本部の支部として設立したのではなく、独立して設立してのものであり、本部と同様に名称変更することもできるし、このまま名称を継続することもできる。如松同窓会東京支部と東京鶴翔同窓会の第1回目の話し合いを7月末に行うことになっている。

それとは別に、本日は東京鶴南同窓会総会に向けて、いろいろと詰めていくことがあると思うのでよろしく願います。

3. 出席者自己紹介

初参加の佐藤（秀子）委員、秋野委員、菅井幹事が自己紹介した。

4. 第53回実行委員長・鈴木良清 挨拶

6月に入って各部会の活動は活発になってきています。

いよいよ本格的に暑くなってくると思いますが、最近は涼しかったり暑かったりで体調を崩しやすいかと思われます。しっかり自身の体調管理をしながら取り組んでください。

5. 議題

各部会の進捗状況

② 広告部会（中里陽一）

広告部会の進捗について報告した。

- ・Zoomを使用して、部会員のみでなく事務局の先輩方の皆さまのご協力をいただきながら進めている。
- ・広告依頼として5種類の用紙（広告依頼の鑑、募集要項、広告申込の流れ、申し込み方法、Fax申込書）に絞り込み、参考資料として前回の会報と併せて6月28日に発送した。また、前回申込者には前回の広告のサンプルも同封している。
- ・当初80件依頼予定であったが、確認の過程でお断りがあり、70件の依頼となった。
- ・手元に届く頃であるので、以前決めた担当からご連絡する予定である。広告掲載のお断りがある場合は先輩方のお力添えをいただきたい。

（協議事項）

- ・広告掲載の目標は何件か？
→60件に設定している。新規を入れて80件依頼予定としていたが、確認段階でお断りがあり、依頼先が70件になったが、何とか当初の目標60件をクリアしたい。
- ・客観的に数値を見ると、70件に対して60件は9割であるので難しいのではないか。過去の実績では同期の方々に10件程度依頼していた。広告依頼先を追加した方がよいと思われる。
- ・黙って待つだけでは、申込数は40件程度と思われる。連絡を急ぐ方がよい。
- ・広告依頼先に実行委員や事務局の同期生がいる場合は、同期から声掛けする方が効果的である。
→依頼先には繋がりのある方がアプローチする。広告依頼先リストをもとに担当者を再設定した。担当者は依頼先への連絡を急ぐこととする。
- ・広告依頼リストをまめに整理すること。
- ・広告リストを皆が常に閲覧できる状態にして、広告部から日中対応できる人に、電話連絡などを依頼するような方法を検討した方がよい。一人だけが対応する方法では遅れになることも考えられる。
→広告依頼リストの共有方法を広告部で検討する。

③ 会報部会（富樫嘉美）

会報の構成案（改定4版）について説明した。

- ・2面 あいさつ文を3名（坂田会長、鶴岡・齋藤会長、遠田校長）に依頼済み。坂田会長、遠田校長から原稿を受領した。
- ・3面～11面の特集として、事務局にも協力を得て、7月15日〆切として1人120字原稿を募集中。既に数件のメッセージを受領している。
- ・広告やメッセージには掲載予定に対して幅があると思うので、余白ができた場合に掲載するバックアップ原稿（みんなで歌おう 校歌、母校ミニ沿革、歴史）を用意している。
- ・3～11面 どこからでも読めるコラムマガジン化を意識して作成する予定である。
- ・3～11面の特集ページに新校章を掲載する。思い出エピソードを1面の表紙の説明として入れていく。ほかに、鶴岡カタカナダービー、チャットGPT、4コマ漫画などをラインナップする。
- ・12面「新制服チェック」を高橋委員が担当。
- ・13面 4年ぶりに開催された天神祭りレポート、酒井藩入部401年シンポジウム（7月11日開催）
- ・14～15面 維持回避納入者名簿、昨年度総会出席者名簿など。
- ・16面 第53回東京鶴翔同窓会総会・親睦会のPR面。会場部と連携する。

東京亀城会（酒田東高校）総会で受領した会報への感想を共有した。

- ・会報に手作り感があり、メッセージ性があるよい紙面であった。
- ・酒田東高校が主体であるが、酒田光陵高校（北高校、中央高校、工業高校、商業高校の併合）、酒田西高校、私立の酒田南高校の同窓生を集めて座談会を開き、酒田から出てくる若者を応援しようという記事がある。少子化において、酒田出身者は皆で助け合っていこうとする、オール酒田を目指した紙面だった。

（協議事項）

- ・鶴南ニュースは、新制服と新校章の2本か。
→紙面に空きスペースに、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）や仮校舎がどうなるかなど話題も入れていくつもりである。2つだけとは考えていないが、現時点では入れるつもりとしか言えない。
→来年以降、統合して学校が変わるだけでなく、中身も変わる。理数科は2クラスとなって80名の定員となる。新聞ニュースによれば、工学部進学率で山形県がトップであった。文科省がSSHとして指定していることも含めて、なぜ理数系に力を入れていくのかについて、紙面に入れてはどうか。

→検討する。

- ・1面の表紙、2面のあいさつ文で、3面からが本文と思うが、それぞれの思い出のお祭りの比較がテーマになるのか。

→1面に実行委員会3代それぞれの代表的なエピソードの写真を掲載予定。2面が3名のあいさつ文。3～9面に同窓生の120字原稿を掲載すると同時に、1面と連動して、コラム的に1面の写真を捕捉する説明を囲み記事とする企画である。お祭りなどの記事は差し込み原稿であり、メインではない。

- ・表紙として高校生活を毎日温かく見守ってくれていた月山の写真も捨てがたい。

→月山と思い出の写真3枚では表紙が混雑するので、思い出写真のみとする。

- ・会報案が文字のみではイメージが付きづらく、皆が違うイメージを持っている可能性もある。仮デザインを早目に作成して、共有してほしい。

- ・今年度は120字原稿に写真添付が多い状況である。紙面に余白が残るかどうかは、未だ分からない。

- ・お祭りの写真には固有人物が映っている。人物の肖像権は大丈夫か。

- ・会報の原稿イメージは会報部会で合意したものか。

→会報部会で情報共有をしている。

- ・120字原稿を募集しているが、原稿作成者の学年などを事務局がチェックをすることや、原稿が届いたら誰に渡すのかなど、原稿の流れ（フロー）を会報部で理解しておくこと。

- ・原稿をメーリングリストで皆に配信すれば、事務局は情報確認できるし、佐藤雄喜さんは編集に取り掛かれる。情報共有が滞らないようにすること。

→届いた原稿は、会報部会で原稿一覧表にしている。

→原稿一覧表をもとに事務局が情報確認するので共有方法を示してほしい。

- ・各学年で原稿が何件届いているなどを実行委員会で報告すれば、実行委員会に参加している学年幹事に追加原稿の働きかけをしてもらうこともできる。

→次回実行委員会で、依頼原稿の状況なども報告する。

- ・原稿依頼時に要綱を添付しないと原稿が正しく届かない。原稿作成者がどのように投稿するか（HP、メール、Fax のどの方法にするか）は自由である。原稿は思い通りに届かないことを想定して、どの方法でもきちんと受け取れるように、依頼方法を再度確認して依頼方法を見直すこと。

④ 会場部会（匹田秀二）

会場部会の進捗状況を説明した。

- ・会場のラングウッドを4名で訪問して、現地視察および費用の確認を行った。
- ・会場のプロジェクターなどは昨年同様に用意できる。
- ・食事について、ご宴会プランが500円アップしていることと、昨年のような5%引き

は難しいとのことなので、昨年同様のプランは難しいと考えている。

- ・ご宴会プラン、弁当 4,840 円（4,000 円にサービス料、税込み）＋飲み放題、弁当 4,000 円（3,300 円にサービス料、税込み）＋飲み放題の 3 パターンで見積依頼した。
- ・昨年の予算の実績をもとに総会の想定予算を作成した。
- ・現段階では、4,840 円＋飲み放題の食事ではないかと考えているが、広告部、会報部の費用が分かれば見直しすることもできる。
- ・7 月、8 月で、大まかな式次第とイベントの相談をして固めておきたい。
- ・7 月 8 日の第 1 回会場部会（Zoom）を開催。
- ・イベントとして思い出写真の映像や新制服の紹介なども考えている。
- ・イベントに使用する写真を学校から借用する場合にどのようにしたらよいかなどを後日相談したい。

（協議事項）

- ・ホテルの吊り看板の費用が 25,000 円、看板製作費を加えると 40,000 円～50,000 円かかる。看板無しにする案もあると思うが、いかがか。
→プロジェクターに“第 53 回東京鶴翔同窓会総会・親睦会”と映す方法もある。次回に確定したい。
- ・実行委員の同期生に歌手や音楽家がいないので、イベントに出演できそうな知り合いがいたら紹介してほしい。
- ・校章を景品にしたい。当時の校章をどのようにして入手したらよいか。
→7 月 5 日の総会で、岡部事務局長が鶴岡・鶴翔同窓会会長に会う予定である。その際に尋ねる。
- ・予算が 2 案あるが、会費と飲食品の人数が合っていないなど、数値確認が必要などところがある。
- ・全体予算は、実行委員長と事務局長がまとめて、各部会の活動予算を決定すること。活動予算をもとに各部で実行計画を作成するものである。
→実行委員長、事務局長、3 部会長で予算編集をする。
- ・ホテルの食費が値上げされていること、今年度は会費の値上げをしないことが決まっているため、昨年よりも食費を落とす必要がある。
→座席＋ビュッフェ方式もあるのではないか。ビュッフェ方式では、7 割の料理を注文で済む。
→弁当でも質的に悪いものではない。
→予算があつてのことなので、詳細は今後検討する。
- ・会費は食費に使用して、それ以外の費用は広告で賄う想定である。広告掲載件数を多くすることが重要である。

6. その他

- ・第5回実行委員会

日時：2023年8月5日（土）14時～16時

場所：京橋区民会館

－ 以上 －

議事録作成：藤田美鈴